



令和3年度予算の紹介

予算ってなに？

予算とは、1年間(4月から翌年3月まで)の収入と支出の見積りで、名古屋市が市民のみなさまからお預かりした税金などを財源として、どのような事業を行っていくのかをお示しするものです。



Q

予算はいくらなの？

一般会計

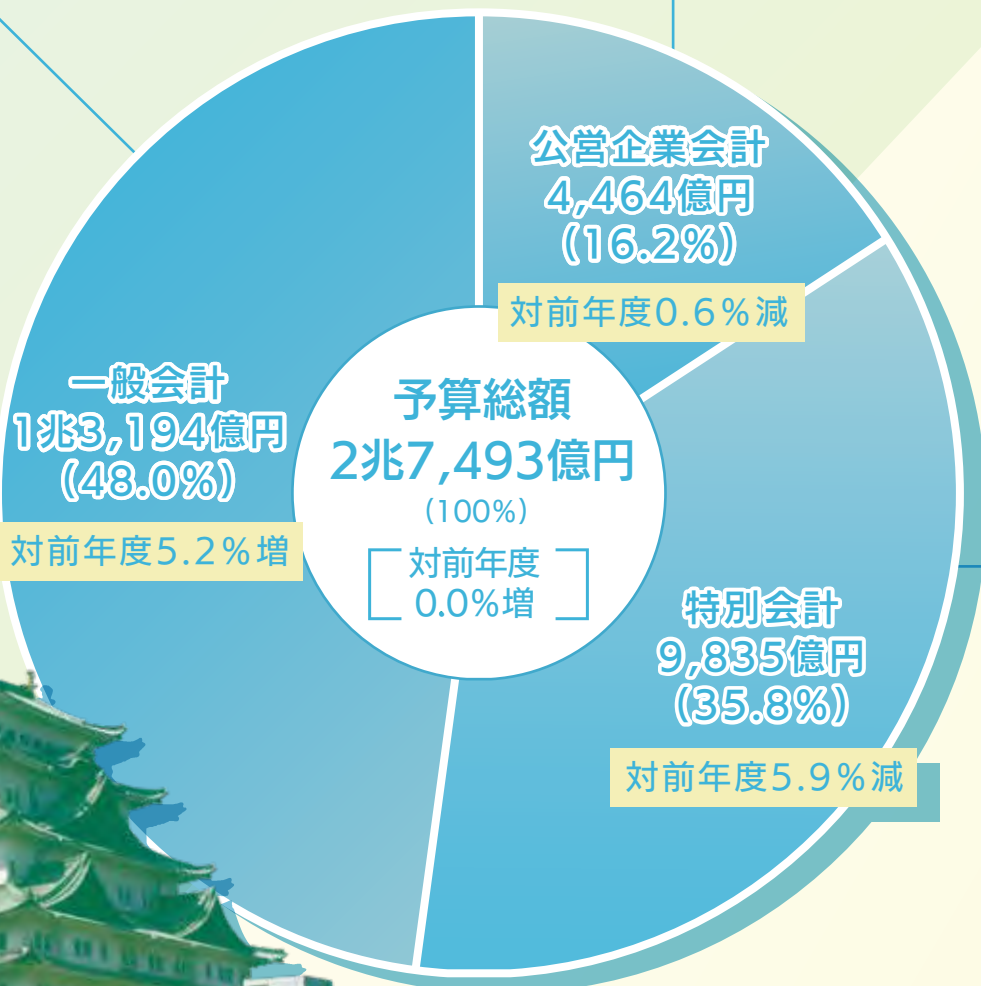
市税を主な財源とし、福祉、教育、道路・公園の整備など市政の基本的な事業を行っている会計です。

公営企業会計

病院、上下水道、市バス、地下鉄事業など、主にサービスを受ける方からいただいた料金で運営している会計です。

名古屋市には6つの公営企業会計があります。

病院事業会計	531億円	下水道事業会計	1,469億円
水道事業会計	807億円	自動車運送事業会計	310億円
工業用水道事業会計	17億円	高速度鉄道事業会計	1,330億円

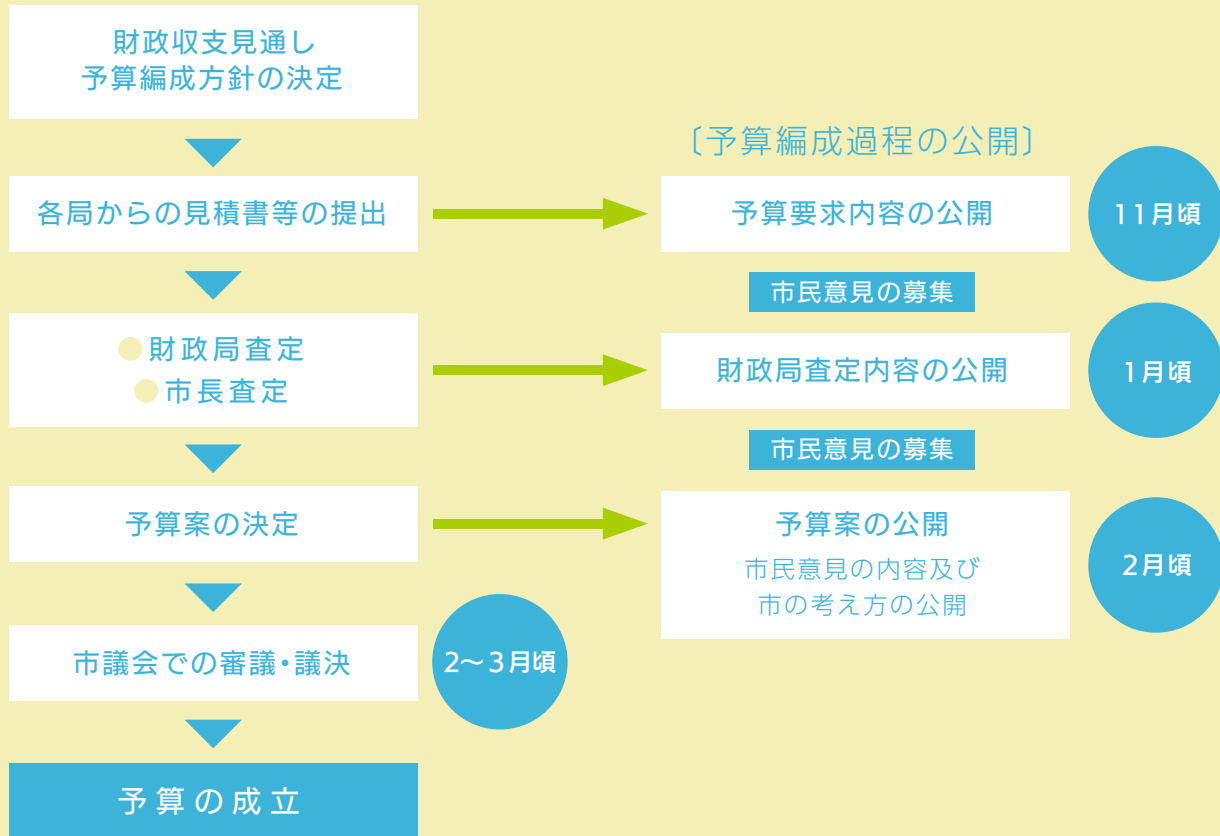


※この冊子は令和3年度当初予算について紹介しています。



予算はどうやって決まるの？

予算は次のように市長が予算案をつくり、議会の審議を経て決まります。
名古屋市ではその過程を公開しています。



特別会計

特定の収入（保険料など）によって特定の事業（保険事業など）を行っている会計で、一般会計と区別して経理する必要がある会計です。

名古屋市には11の特別会計があります。

国民健康保険会計	1,998億円	土地区画整理組合貸付金会計	8億円
後期高齢者医療会計	597億円	市街地再開発事業会計	3億円
介護保険会計	2,073億円	墓地公園整備事業会計	19億円
母子父子寡婦福祉資金貸付金会計	12億円	用地先行取得会計	167億円
市場及びと畜場会計	75億円	公債会計	4,877億円
名古屋城天守閣会計	6億円		

※特別会計と公営企業会計については
19～20ページをご覧ください。

次のページからは、
主に一般会計について説明していきます。



歳入の内訳



一般会計の

個人市民税	2,280億円	市たばこ税	155億円
法人市民税	444億円	事業所税	170億円
固定資産税	2,060億円	都市計画税	454億円
軽自動車税	28億円		

市民利用施設の利用料や各種証明発行手数料など

使用料及び手数料
419億円
(3.2%)

貸付金の返還金や宝くじ収入など

諸収入
1,429億円
(10.8%)

国や県が集めた税金の一定割合が
配分されるお金

繰入金など
341億円
(2.6%)

地方公共団体間の財源不均衡の調整
などのため、国から配分されるお金

地方譲与税・県税交付金
866億円
(6.6%)

特定の事業の財源として
国や県から交付されるお金

地方交付税
89億円
(0.7%)

道路や公園などの公共施設の整備などのために借り入れるお金

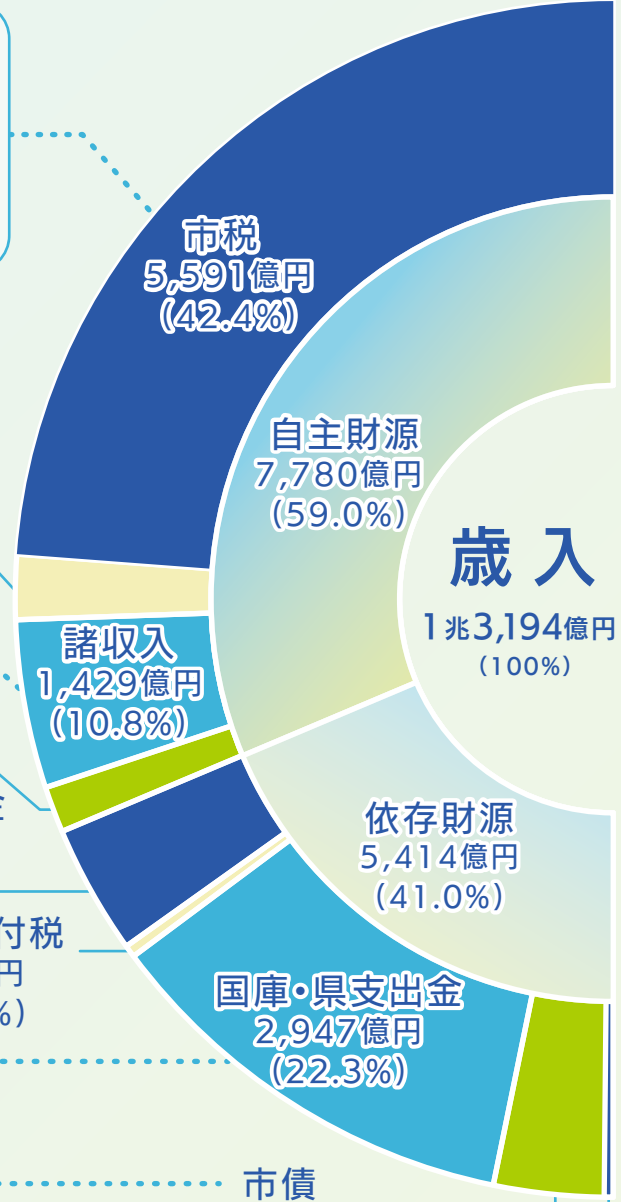
市債
1,291億円
(9.8%)

公共施設整備などの市債	841億円	臨時財政対策債	450億円
-------------	-------	---------	-------

国庫・県支出金
2,947億円
(22.3%)

依存財源
5,414億円
(41.0%)

地方特例交付金など
221億円
(1.6%)



※自主財源と依存財源については12ページをご覧ください。

市民税減税

市民生活の支援、地域経済の活性化を図るとともに、将来の地域経済の発展に役立つよう、名古屋市では、市民税を減税しています。令和3年度では、減税額91億円を見込んでいます。

詳しくは Web で

名古屋市 市民税減税

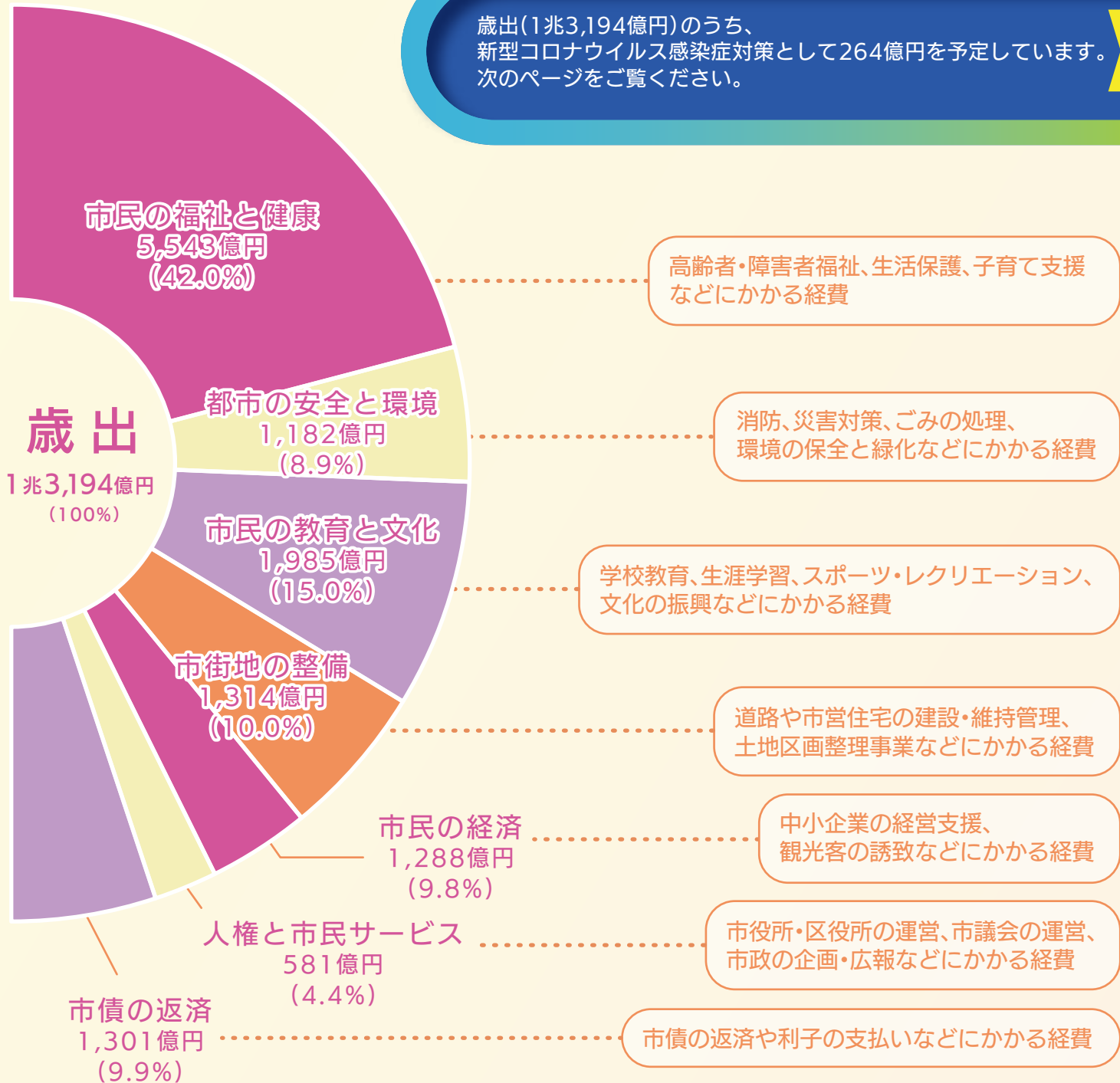


歳入と歳出



歳出の内訳

歳出(1兆3,194億円)のうち、新型コロナウイルス感染症対策として264億円を予定しています。次のページをご覧ください。



消費税率及び地方消費税率引上げに伴う増収分の使途

平成26年4月1日から税率が5%から8%に引き上げられました。また、令和元年10月1日から10%に引き上げられました。これらの税率の引上げに伴う増収分は、年金、医療及び介護の社会保障給付、少子化対策やその他社会保障施策に要する経費に充てています。

社会保障施策充当一般財源 3,037億円

地方消費税交付金(税率引上げに伴う増収分) 284億円



新型コロナウイルス感染症対策

7

主な取り組み

医療提供体制の確保

66億円

● 積極的疫学調査・健康観察体制の確保等

17億8,091万円

積極的疫学調査や自宅療養者などの健康観察を行います。また、新型コロナウイルス感染症対策室や保健センターの体制を強化します。

● 医療費・PCR検査費の公費負担等

20億5,718万円

感染症患者の入院医療費やPCR検査費を公費で負担します。

● 専用病床の運営負担金

5億9,190万円

市立大学が運営する新型コロナウイルス感染症専用病床の運営費を負担します。

● 重点・協力医療機関等の支援

4億3,435万円

感染症患者などを救急搬送により受け入れた医療機関に、患者一人あたり3万5千円を補助します。

● 愛知県医療従事者応援金に対する負担金

6億6,400万円

愛知県が交付する愛知県医療従事者応援金の名古屋市患者分の一部を負担します。

2

主な取り組み

感染拡大の防止

36億円

● 児童福祉施設、学校の衛生用品購入等

11億7,578万円

保育所、留守家庭児童育成会、トワイライトスクール・トワイライトルーム、学校などへマスクや消毒液などを購入します。また、指定避難所へ衛生用品を備蓄します。

● 自宅療養者等配食サービス事業

3億7,496万円

自宅で療養している感染症患者や同居人への配食サービスを行うとともに、生活用品などを配布します。

● 障害児通所支援事業所、介護保険・障害福祉サービス事業所におけるサービス提供体制の確保

4億5,119万円

コロナ禍でも各事業者が継続してサービスを提供できるように支援します。

● スクール・サポート・スタッフの配置

3億1,361万円

学校内の清掃・消毒や学習プリントの印刷など、教員の支援を行うスクール・サポート・スタッフを配置します。

● 市バス、地下鉄、ガイドウェイバス、西名古屋港線車両の抗ウイルス加工

2億2,519万円

バス・地下鉄車内などを抗ウイルス加工します。



令和3年度予算

264 億円

医療提供体制を確保し、
感染拡大防止と社会経済活動の回復の両立を図り、
市民の命を守り経済を支えます。



3

主な取り組み

社会経済活動の回復

143億円

- **ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策事業継続資金の利子補給** 115億789万円
融資にかかる利子の3年間相当分をキャッシュバックするための補助を行います。
- **中小企業金融対策(成長応援資金の創設)** 9億308万円
小規模企業向けの第三者保証人が不要で低金利な融資制度を創設します。
- **ナゴヤ新型コロナウイルス感染症対策経営支援資金・
経営改善サポート資金の創設** 1億3,458万円
経営改善に取り組む中小企業向けの低金利な融資制度等を創設します。
- **観光客誘致促進事業** 16億5,000万円
観光需要の回復や地域経済の活性化のため、市内宿泊に対する助成を行います。
- **新型コロナウイルス感染症対策展示会** 4,000万円
感染症対策を行ったエンターテインメント施設や飲食店等を再現した展示会を民間主催者と共同開催します。

4

利用料金施設の減収補填など

19億円

利用料金制度を適用している本市施設について、
感染症の拡大による減収が生じた場合に管理運営経費を上限に減収を補てんします。

令和2年度補正予算のうち、令和3年度に取り組む事業



- **新型コロナウイルスワクチン接種事業** 124億8,700万円
- **高齢者の自宅へのエアコン設置等助成** 1億3,598万円
- **ナゴヤわくわくプレゼント事業** 9億9,071万円
- **プレミアム商品券の発行** 16億7,000万円



重点戦略の主な取り組み



7



子どもや親を総合的に支援し、
未来を担う人材を育てます



小学校3年生での35人学級の実施

5億 6,970万円

国の計画に1年先駆けて、子ども一人ひとりを大切にしたきめ細やかな指導を行います。

待機児童対策

29億 4,647万円

令和4年4月の待機児童ゼロを目指し、引き続き民間保育所の整備などを行います。

ナゴヤ・スクール・イノベーション事業

子ども一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じた学習を推進します。

個別最適化された学びを提供する授業改善の推進

..... 2億9,843万円

新時代の学びを支えるICT環境整備
(児童生徒1人1台タブレット端末の配備 など)

..... 58億1,409万円

ナゴヤわくわくプレゼント事業

9億 7,876万円

笑顔や希望をもって子育てをスタートできるように、子どもが生まれた家庭に名古屋市オリジナルのギフトをプレゼントします。

子ども医療費の助成

111億 8,763万円

令和4年1月より、通院分について、18歳まで対象者を拡大します。
(政令市トップの制度)

2



みんなにやさしい福祉を実現し、
元気に活躍できるまちづくりをすすめます



敬老パス対象交通の拡大及び利用限度設定

13億 4,336万円

令和4年2月より、敬老パスの名鉄・近鉄・JR東海の鉄道及び名鉄バス・三重交通の路線バスへの対象交通拡大と利用限度の設定等を行います。

ピロリ菌検査の実施

8,751万円

令和3年10月より20～30代を対象に検査を実施します。



重点戦略の主な取り組みの詳細や
その他主な施策をWebで紹介しています

名古屋市 令和3年度主な施策等一覧



3



災害から命と産業を守り、 安心・安全な暮らしを確保します



指定避難所通信環境の整備及び電源の確保

1億2,650万円

主要な指定避難所である市立小中学校においてWi-Fi環境を整備します。また、EV車等を活用した避難者用電源を確保します。

交通安全緊急対策

未就学児の移動経路の歩道整備等

…………… 3億3,562万円

自転車乗車用ヘルメットの購入費補助

…………… 2,624万円

4



強い経済力を基盤に、にぎわいと 新たな価値を創出し、環境と調和した 都市機能を強化します



リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの推進

都心の魅力づくりとして、名古屋駅ターミナル機能強化に係る駅前広場周辺の再整備等を進めます。

名古屋駅ターミナル機能の強化

…………… 12億4,700万円

名古屋駅周辺まちづくりの検討

…………… 2,600万円

国際展示場第1展示館移転改築等

国際展示場第1展示館移転改築

…………… 113億1,195万円

国際展示場コンベンション施設整備

…………… 20億630万円

国際展示場歩行者デッキ整備

…………… 11億1,287万円

グローバルスタートアップ創出促進事業

3,500万円

世界に通用するスタートアップ企業を創出するため、グローバル展開を目指すスタートアップ企業の急速な成長を支援します。

名古屋スポーツコミッション(仮称)の発足

6,000万円

スポーツ大会の誘致やスポーツによる地域活動の活性化等に官民連携して取り組む組織を発足します。

エスディーゼース

SDGs未来都市として、 持続可能な未来を切りひらきます！

SDGs(持続可能な開発目標)とは、17の目標と169のターゲットで構成された国際目標です。名古屋市は令和元年7月に「SDGs未来都市」に選定されました。

持続可能なまちづくりを進めるため、なごや環境大学SDGs未来創造クラブにおいて、SDGs達成に向けた活動などに取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



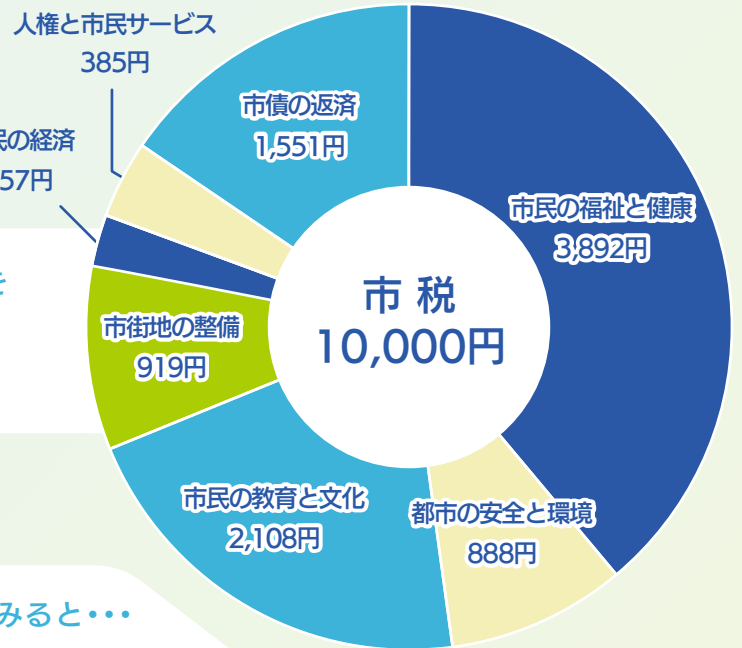


市民生活に身近な予算

ここでは、名古屋市の予算を
いろいろな側面から見てみましょう。



市税収入5,591億円を
10,000円に置きかえて
使いみちを見てみると…

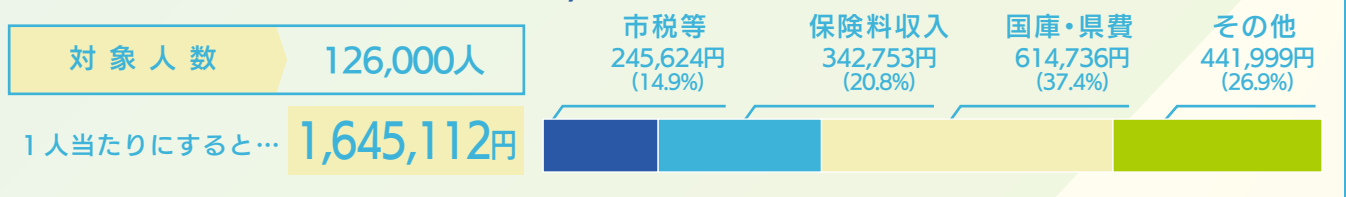


身近な視点から予算を見てみると…

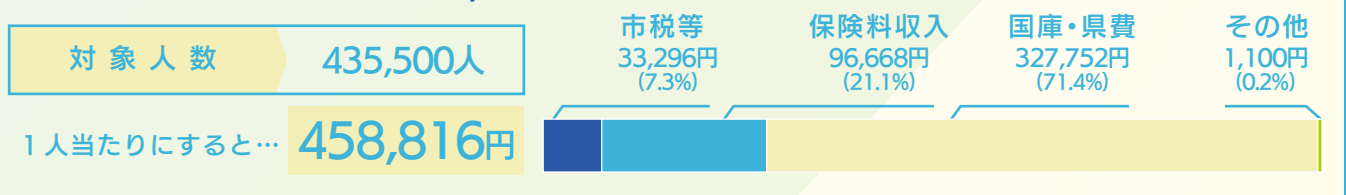
● 老人医療関係費は681億円 (一般会計で84億円、後期高齢者医療特別会計で597億円)



● 介護保険のための経費は2,073億円 (介護保険特別会計)



● 国民健康保険費は1,998億円 (国民健康保険特別会計)



● 子ども医療助成費は112億円



● 保育所・認定こども園(保育分)等の運営費は779億円(うち、名古屋市の歳出額は760億円)



● 市立小・中学校の運営費は1,218億円



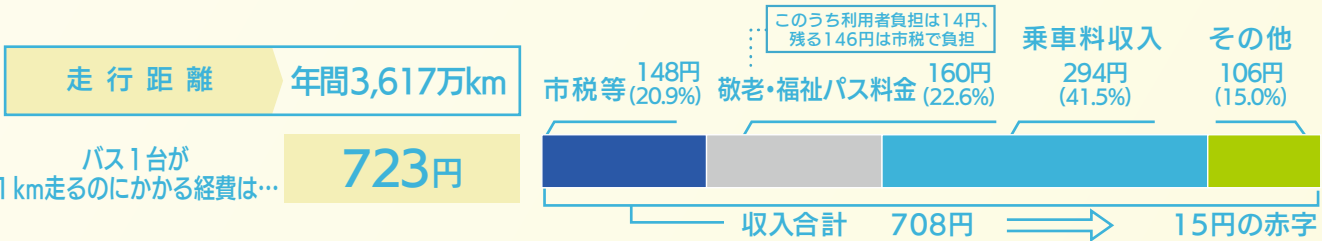
● 公園の維持管理費は44億円(東山総合公園を除く)



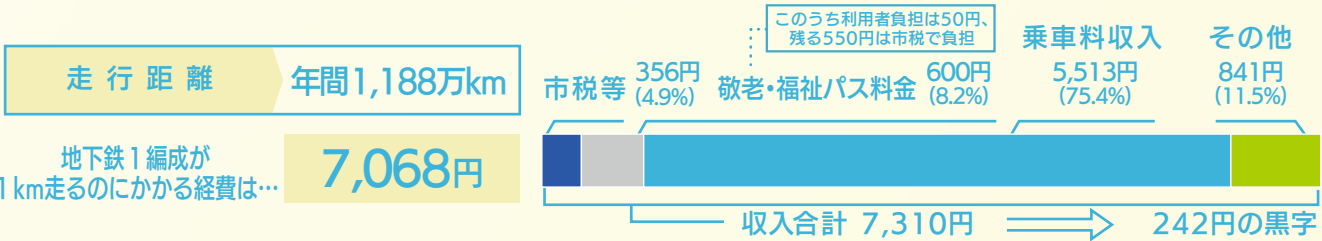
● ごみ、資源の収集処理に要する経費は251億円



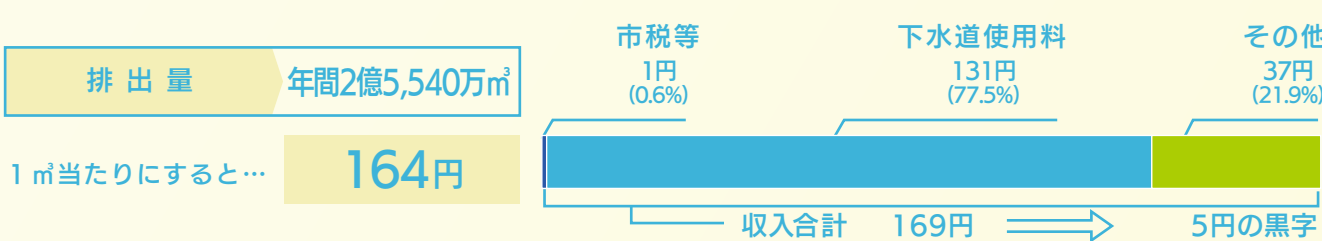
● 市営バスの運行に要する経費は262億円(自動車運送事業会計)



● 市営地下鉄の運行に要する経費は840億円(高速度鉄道事業会計)



● 下水処理に要する経費は418億円(下水道事業会計)



※市税等とは、市税、県税交付金、臨時財政対策債などの一般財源です。

